

Esperanto ★

Verda Placo 2014-Januaro

みどりのひろば 2014年 1月

N-ro 25

Harima Esperanto-Societo (はりまEsperanto会)



Paro de ĉevaloj ligne farita de TADA Rjuĵi

~~~~~

## 第10回国際交流スプリングフェスティバル開催

平成26年 3月2日(日) 10:00~16:00

場所: イーグレひめじ 3階・4階

皆様の参加、お手伝いをお願いします。

関西大会の絶好の Informado の機会です。

~~~~~

第10回スプリングフェスティバルに出展

塚本 猛

3月2日にイーグレひめじで開催されるスプリングフェスティバルにはりまエスペラント会として参加します。展示及び入門講習会(セミナー室Cで10:00-15:30)を行う予定です。例年通りの参加ではありますが、今年は関西エスペラント大会を姫路で開催することもあり、より身近なものとしてエスペラントの認知度を上げるための機会として活用したいと思います。

展示では第62回関西エスペラント大会のチラシや、野田淳子さんのミニコンサートのお知らせも出したいと考えていますので、会員の方々にもご協力をお願いします。

講習会では、DVD や CD を使ってエスペラントの発音練習、簡単な会話の練習をします。入門者でなくても、大会のための会話練習になるのではないのでしょうか。CD の音声は第62回関西エスペラント大会に出席予定のアレクサンドラ綿貫さんです。アレクサンドラさんは、6月1日の関西エスペラント大会で、マンガ文化を中心に、日本文化が現代ポーランドに与えた影響について公開講演(無料)されます。通訳が付きませんが講演はエスペラントですので、その発音に慣れておくこともできるでしょう。

関西大会第4回実行委員会報告

～ 公開番組PRチラシなど決まる ～

1月16日午後、イーグレひめじのセミナー室Dで開催。稲田、久保田、佐野、多田、塚本、中村、馬場、峰、吉田、磯貝(神戸)木元(KLEG)の11人が出席。主として、用意した資料に基づいて、およそ次のことなどを話し合った。

- 1) 参加申し込みの状況:1月14日現在46人。吉田さんから、大本のエスペランチストにも参加を勧めているとの報告あり。
- 2) 姫路文化国際交流財団の「文化活動の助成募集」に対して、大会の公開番組への助成金の交付を申請する。
- 3) 公開番組 PR チラシは、中村さんの知人の森本名美子さんに制作を依頼した案について、意見を出し合い、手直しを依頼することを確認。配布できる枚数を確認した上で、印刷数を決める。印刷発注は2月10日の予定。3月2日のスプリングフェスティバルで配布する。
- 4) 学習番組: 藤巻謙一さん「エスペラント独習のすすめ」を追加。
- 5) 「エスペラントで歌おう」のピアノ伴奏者を探す。
- 6) Bankedo のメニュー、さらに酒類の代金支払い方法などは多田さんと吉田さんが木元さんの助言を得て交渉する。
- 7) 開会式などの司会者の依頼状況を確認し、大会当日の時間配分について意見を交換。
- 8) 今後の準備作業について確認。(文責 峰)

今後の予定

3月13日(木) 午後2時～5時。第3会議室。

4月10日(木) 午後2時～5時。

神戸・はりま合同ザメンホフ祭に参加して

馬場祝栄

12月8日神戸青少年会館で行われた、ザメンホフ祭に参加して来ました。合同ザメンホフ祭になってから3回目の参加ですが、会を重ねる毎に、知り合いが増えていき、再会を喜び合いました。いつものことながら、神戸の会員さん達はベテランの方ばかりでスラスラとエスペラント語の司会で進行、私は情けないことにkrokodilo状態でした。例年通り La Espero の斉唱から始まりました。今までは、皆の歌についていけなくて、ロバクパク状態だったので、今年は意を決して覚えることにし、塚本さんにテープにダビングして頂き、毎日練習していました。そのかいあり、楽譜を見ながらですが、歌えたつもりです。後、参加者の自己紹介、お薦め本の紹介、歌唱指導と続けました。歌唱指導は皆がよく知っている Ruĝlibelo,

Vizaĝon supren から始まりました。 La Espero 時は大きな声で歌いましたが続いての2曲はメロディーになじみがないので四苦八苦しました。 記念写真の後、多田さんより第6回関西エスペラント大会の説明がありました。この時。京都からお越しいただいていた田平さんより、参加者名簿の一番を、オークションで決めようと提案があり、オークションをしました。彼女の流暢なエスペラントにも着いて行けて面白かったです。次の Deklamado は3名の方が挑戦されていました。私にはまたまたチンカンブン。krokodilo でした。次にカナダ在住で、現在日本旅行中の ges-roj Amis による Kvizo pri Kanado でした。スクリーンに色々な写真を写し説明しながら、vere aŭ malvere と質問していきました。そして聞き手の私達は vere と思ったら親指を立て、malvere だったら、親指を下にします。日本ではこのクイズ形式の時は○か×のカードをたいて用意いたしますが、この方法は準備がいらなくて良いので簡単だと思いました。クイズもよく知っている問題で答もだいたい分かったのですが、最初の内は指を立てたりおろしたりができませんでした。その内にだんだんと面白くなりできるようになりました。その問題の中でサンタクロースはカナダにいるのは vere aŭ malvere? という質問がありました。エスペラントのサンタはカナダにいるそうで、カナダの住所が展示されました。

私はこの住所にクリスマスカードを送ることにしました。果たして返事が来でしょうか、楽しみです。gastoj 3人のお蔭で楽しいザメンホフ祭になったと思います。最後に

塚本さんの挨拶、Tagiĝo 斉唱で無事閉会いたしました。



かがわ・東かがわのザメンホフ祭に参加して

多田龍二

12月15日(日) 13:30-15:30、高松市のアイパル香川3Fにて開催された。私は少し早めに、来てほしいと東かがわの三好鋭郎さんからのメールで、青春切符を握りしめ、家を出た。高松駅で、吉田信子さんと待ち合わせたのが、もうすでに三好さん夫婦は改札で待っていた。大会の人形の件を打ち合わせ、昼食をすませて、会場に行った。会場はアルゼンチンタンゴがかかっている、いい雰囲気でした。会場の手伝いをしていると、つぎから、つぎから参加者が集まってきた。私は関西大会の Informilo を多目にと20部用意したが、出席者25名となった。

まずは自己紹介から、始まった。新聞の催し欄をみてきた人。友達に誘われた人、80歳の女性は家で、子供や孫が”sinjoro,sinjoro”言うもんだから、私も少しは勉強しようとやってきました。若い人、それなりの人、大盛況でした。みんないろいろな思いがあって、参加してました。アテリオさんの講演(通訳つき)「アルゼンチンについて」アルゼンチンのマテ茶と乳製品、お菓子などをたべながら、お話をきいた。香川エス会の小坂さんから、折角遠くから来られたので、第62回関西エスペラント大会のことを話してくださいと依頼があり、つたないエスペラントで話した(原稿を読んだ)。

同時に、Informiloと申込書をくばった。続いて、三好さんの講演で「世界の人形展について」日本語とエスペラント語をうまく使って、講演をされていました。



私の参加したもう1つの目的は、学生時代の友人で香川エス会の事務局赤松さんに会うことでした。昔とかわらない屈託のない笑い顔でしたが、病床の母をかかえて、少しの時間を取ってもらい、足早に帰っていった。すでに50年近くがすぎ、香川のZ祭は昔とかわらず、すこしホットしました。地域によって、Z祭もずいぶん違うものだと感じました。

野田淳子さんが姫路にやってくる！

2014年3月16日（日）午後2時

姫路市市民会館

関西大会でミニコンサートを予定している野田淳子さんの「上條恒彦&野田淳子」のコンサート「生きているということ」が、姫路労音で開催されます。一般の入場料 5000 円。チケットの予約は、中村雅子さん（電話ファクス 079-284-7841）へ。なお、中村さんは、1月12日に開かれたコンサート事前学習会に出席して、約20人の参加者を対象に、請われてエスペラントのことを40分ちかく話されたそうです。そして、コンサートの入場者に関西大会公開番組のチラシを配布してもらえることも決まりました。また、労音事務局長によれば、12月に佐用と山崎で開かれた宍粟労音の「野田淳子コンサート」では、野田さんがエスペラントのこと、さらに姫路で関西エスペラント大会が開催されることを話されたそうです。（峰）



はりまエスペラント会 懇親会

三鍋 ひとみ

2013 年も残りわずかとなった 12 月 26 日、姫路の「和ダイニング 三日潮」においてははりまエスペラント会のメンバーが集い、懇親会が行われました。あいにくの雨でしたが、峰先生ご夫妻をはじめ原田様、中道様、前川様をお迎えし、全員で 18 名が参加しました。

なごやかな雰囲気の中、5 月に開催される関西エスペラント大会の打ち合わせから始まりおいしい「官兵衛おもてなしご膳」を頂きながら、自己紹介では皆さんがエスペラント語を学ぶようになったきっかけ等を話していただきました。

峰先生が「エスペラントで人と人がつながっていく」と言われましたが、本当にそのとおりだなあと感じます。2014 年 5 月には姫路で関西エスペラント大会が開催されますが、さらに人と人とのつながりが大きく広がると嬉しいです。私はエスペラント語を習い始めて約 1 年位なので大きな大会に出席した経験はありません。でも、地元で開催される大会なので、皆さんの足を引っ張らないように、お手伝いをしたいと思いますので今年もどうぞよろしくお願い致します。



後列左から、三鍋（筆者）、大前、中村、中道、久保田、稲田、佐野、多田、馬場、原田、前列左から内海、吉田、中川、青木、塚本、峰前川、峰夫人。

エスペラントの小枝の先にとまった

中原 章（高砂市）

1. 初級講座はよかった！

沼津エスペラント会の藤巻氏による手づくりテキストが素晴らしい。暗中模索のなかでウロウロオロオロと自学独習を志す人たちにとっては福音書でもあり、かゆいところに手が届く「孫の手」のようなありがたい教本でした。2013年6月からはじめたエスペラント学習もこれがなかったら、おそらく続かなかっただろうし、続けられるとも思わなかったでしょう。指導の藤巻先生のお人柄が彷彿とされる講座は、毎回単語説明が繰り返し掲載され、整理された判りやすい文法を中心に、言語に慣れることへの配慮が満載された手づくりのテキストが特色です。通信添削もリアルタイムの迅速丁寧、簡潔なので、理解ミスや勘違いやタイプミスの習癖などの指摘はありがたいものでした。心から感謝しています。だからすぐ中級にチャレンジする気になりました。中級講座の最初から歯が欠けそうな大骨（書き取り）に往生して、峰先輩に、「助けてちょうだい」とナキをいれました。毎度のことですが、彼の博学、かつ正確で明瞭な発音はどれだけ私を鼓舞してやる気をださせていただいていることか。このことも特筆すべき感謝の対象です。エスペラントの緑の星バッジは失わないように車のキーケースに固着しております。

2. エスペラント、そも君は？

- ① 「エスペラントってなんや？」、「大学の時に聞いたことあるなあ、今でもあんの？」、「やるんやったら英語の会話やハンゲル語の方が役に立つやんか」。結局「好きやねえ、あんたはいくつになっても」と散々です。これが私を取り巻く家族および友人諸侯や取り巻き連中の反応です。
- ② エスペラントは「知る人ぞ知る」人たちの世界でもあり、モノは違うが、今いち人気のない日本の伝統芸能（詩吟や尺八、端唄や小唄、浪曲や民話の世界に似た境遇だといえ、お叱りを受けるでしょうね。私にはそのように見えるのですが。
- ③ この人工言語は自然発生の民族言語とちがって、きわめて合理的な言語組織で成り立っており、複雑な心理表現や愛情表現、豊かな語呂のニューアンスや各界の専門分野にも十分対応できる優れた言語だと知りました。

- ④ 歴史的に紆余曲折して今日に至っているこの言語の役割は、
 私たち言語を使って生きてきた人類にとってなにか大きな役割
 があるのではないかと、その特異な発生歴史から思い至りま
 した。

それは本来地球語として開発されたエスペラントは、各国各民族
 の民族言語が一斉に捨てられて、人類の共通言語の使用で人類社会
 を動かさなければならぬ時代・世紀がくるのを待っている言語で
 はないか。ならばその日を一日でも早く招く努力をすべきだし、そ
 の準備に幼児の時からこの言語を第一言語の母国語とは異なる必要
 性を理解して、第二言語あるいは第三・第四言語として、地球上
 の全員が習得すべきだと考えます。平和と安寧と信愛のシンボルと
 して。これですね、エスペラントの人類文化としての存在価値はこ
 こにあり、です。初級講座をシコシコやっていて、ふとこのことに
 思いが至り、「あ、これは『知る人ぞ知る』で結構じゃない」と背
 筋がシャキッとしたのは、あながち珍しモノ好きのせいではないと
 思っています。また、学ぶ幸せも合わせて持ってきてくれるでしょ
 うね…このエスペラントは。

以上、わたしの一所見です。もっと学習がすすんで、「いっちょ
 前」になれば、この言語への価値意識もバージョンアップするでし
 ょうが、今はここに気づいて夢と魅力を感じています。

*切手のデザインが決まりました！

スタンプ 80円大型切手 80円切手 50円切手



切手シート 80円大型切手シート（10枚） 1200円
 80円切手シート（20枚） 2000円
 50円切手シート（20枚） 1400円

日 エスペラント連盟顧問

峰 芳隆さん(72)

編集委員インタビュー

「なぜ今、この事典を。」
 「1984年に『日本エスペラント運動人名小事典』を作った。これは500人余りを収めた小冊子。記述内容も不十分だったため、以後も資料収集を続けていた。が、会社勤めの身であり限界を感じていたところ、2005年に千葉工業大助教の柴田敏さんから協力を申し出ていた。調査は飛躍的に進むも、柴田さんは10年に他界。あとを引き継いだ東北大教授の後藤香さんは翌年、東日本大震災に遭われた。」

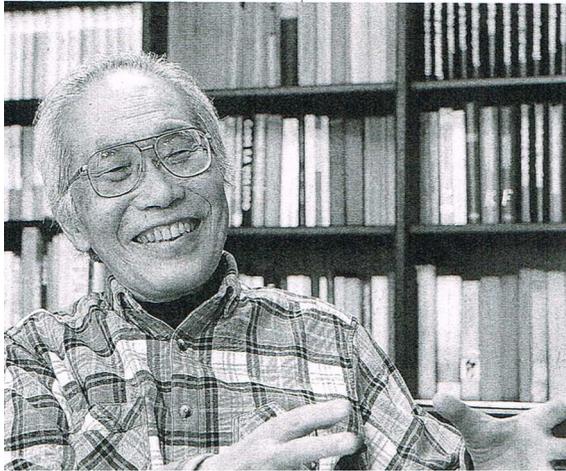
「二時は編纂を断念することも考えたそうだが、世界中のエスペラントから励ましを受け、かえって運動の意義を再認識されたとか。国や民族を超えて人々をつなぐのがエスペラントだから。後藤さんは大学に1年間の研究休暇を申請し、欧州各国まで足を延ばして調査を実施。今年10月の第100回日本エスペラント大会に合わせて刊行した。」

「どんな人を載せた?」
 「17年未までの物故者が対象。狭い意味のエスペラントに限らず、外部から運動にかかわった人も含

コミュニケーションの壁乗り越

いよしたか 1941年神戸市灘区。新日本製鉄に勤務しつつ、鉄工大卒。67年、エスペラント運動会設立に参加。著書に「日本エスペラント運動人名小事典」など。高松市在住。

「この事典は戦前戦後を通じた一つの社会運動史でもある」と話す峰芳隆さん=高松市の自宅(撮影・斎藤雅志)



ネット活用より自由に

「てきた」
 「兵庫ゆかりの人も。『有名人名はまず民俗学』の柳田国男がいる。柳田は国際連盟委員としてスイスへ渡り、現地の運動に参り、

の杉本を務めた。井秀雄 三宮のバブ『キングス・アームス』経営者の奥平光一、川崎造船所の技師だった土谷庄一ら無名の人も。もと

か、社会を築き、エスペラント運動へ。「語を学べば世界への窓が二つ。エスペラントを壁もつもの窓が同時に開

*神戸新聞 2013年12月2日朝刊に掲載された「編集委員インタビュー」記事の部分。記事のコピーが必要な人は、峰へ。

はりまエスペラント会の会計報告 (2013年)

2013年1月～12月

項目	収入	支出	残高	備考
会費	110,000			
例会参加費	13,900			姫路, 加古川
寄付	2,400			佐野
Z 祭余剰金	930			
KLEG 会費		70,500		
例会会場費		18,068		姫路, 加古川
Verda Placo		10,000		5号(プリント代)
事務用品		2987		封筒, 宛名ラベル ktp
通信費		14,870		LM, VP 発送 ktp
広報活動費		11,272		展示 ktp
計	127,230	130,865	-3,635	
前年の繰越	81,965			
翌年へ繰越			78,330	

会費：4,400円×25（のべ人数）

例会参加費：例会参加者による会場費負担金。

Z 祭剰余金：神戸との合同ザメンホフ祭の剰余金分配分。

KLEG 会費：月額 250 円/人（23 人×6 カ月，24 人×6 カ月）

Verda Placo：毎号 50 部プリント。会員に配布の他，KLEG 加盟グループに，KLEG 事務所経由で配布。また，日本エスペラント協会（JEI）と岡山エスペラント会にも。広報活動費：姫路国際交流フェスティバル（10 月）出展料（6000 円）他。なお，関西大会準備等の費用は対象外。（塚本さん<加古川>と中村さん<姫路>の管理分と合わせて，峠が集計）

学習例会の記録

Kie, kiam, kiuj kunvenis kaj kune lernis?

＜姫路＞＜姫路:イーグレ第4会議室＞

11月28日 中川, 中村, 馬場, 三鍋, 山岸, (峰)

関西大会 Gaja Vespero で上演予定の寸劇シナリオの作成。

12月26日 大前, 中川, 中村, 馬場, 三鍋

Gaja Vespero の寸劇シナリオの検討と読み合わせ。

＜加古川:加古川総合文化センター＞学習例会は午後2時～4時

11月17日 塚本, 多田, 馬場

12月 休み

テキストは“Katrina malfruas”, ですが、大会関連、VPの郵送準備、エス文の添削、朗読などでなかなか、前に進みません。

今後の例会予定

(2014年1月～3月) Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (第4木曜日, 午後1時半～4時, イーグレ第4会議室)

1月23日, 2月23日, 3月27日。

関西大会 Gaja Vespero で上演予定の寸劇の練習を計画。

★加古川 (午後2時～4時, 加古川文化センター第3会議室)

1月19日, 2月16日, 3月16日

編集後記:

新年明けまして、いよいよ関西大会開催の年となりました。

暮れに、姫路と加古川と合同親睦会を行い、大会への機運も高まり、

姫路での大会を是非成功させましょう。よろしく願います。

次回は3月20日発行予定です。原稿をお待ちしています。

★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 25 2014年1月18日

発行: はりまエスプラント会 (〒671-0122 高砂市北浜北脇 29-16 峰芳隆)

編集: 多田龍二 明石市西明石町5-6-2 t-ryuji@sky.plala.or.jp